

メタセコイヤ



太田小学校 学校だより 3月号 R8. 2. 27 (金)



School Tree Metasequoia



苦勞や困難な環境こそ 子どもたちの真の成長を促す



多くの芽吹きをもたらす春を迎える度に、「植物は、蓄積温度が満ちて発芽する」という言葉が浮かびます。この時期の気候は、三寒四温を繰り返して、植物にも動物にも春をもたらします。自然界の生き物たちは、揺れ動く気温の変化にその都度反応するのではなく、個体の持つ「発育限界温度」を超す温度を「有効温度」として積算すると言われます。そして、発育限界温度が生き物によって違うため、春の感じ方や成長の速度が異なるようです。一方、鳥のように昼の長さで季節を知る生き物は、地球の動きによって自らの行動を決めると言われます。いずれにしても、自然界の多くの生き物は自分を取り巻く環境から自らの育ちの時を知り、状況に合わせた生き方や育ち方を心得ています。それに対し、私たち人間は、母親の胎内で見守られる間、比較されることは、さほど多くありません。しかし、生まれた途端に成長の「速さ」が周りと比較されがちです。成長の速さが学童期においても重視され、その後の成長に伴い、その視点が、「質」へと移っていきます。そこにあって、人間の成長は、いかに人や社会のために役立つ力を獲得し、生かすことができるかが大切です。そこで、自分を取り巻く様々な環境を自らの学びによって実生活に生かすことが必要です。苦勞や問題などの刺激が少ない環境は、蓄積温度に寄与しない存在です。それに対し成長を促す有効温度となる環境は、様々な課題解決に関わり多くの悩みや不安を抱えつつ、成長や発達の良い刺激になると言えます。その意味では、これまでの体験とともに、これから出会う苦勞や困難という環境こそ、子どもたちの真の成長を促すと信じています。そして、保護者の方々とともに連携し、支え合っていければと考えています。

(文責) 岸本 裕希



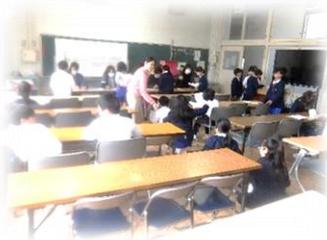
地震を想定した避難訓練 (全校生)

1月14日に、地震を想定した避難訓練を行いました。地震が起きた時は、机の下や運動場の真ん中で自らの身を守ること、避難時には、(お)さない、(は)しらない、(し)ゃべらない、(も)どらない、(て)い学年からを意識して避難しました。その後、阪神・淡路大震災や東日本大震災、能登半島地震で被害に合われた方々のご冥福を祈るとともに、地震について考える時間をとりました。

太子町 (特産品) 出前講座 (3年生)

1月20日に、太子町経済産業課の方に来ていただき、太子町の特産品について教えていただきました。昔からの特産品として、「太子みそ」「太子いちじく」「松尾のたけのこ」「山しょう」などの農産品があることやマッチが太子町で作られていて全国的に有名であることなどを教えていただきました。また、歴史資料館の方に来ていただき、2月5日に「太子町の昔と今」について、2月12日に「昔の道具」について体験を交えて教えていただきました。





九九道場（2・3年生）

12月は2年生を対象として、1月は3年生も対象として、「九九道場」が数日間にわたり昼休みを使って開催されました。子どもたちが、九九を教職員の前で唱えていき、合格をもらうというものです。必死で唱える子どもたちの姿とそれを聞き逃すまいと、子どもたちの声に耳を傾ける教職員の姿が印象的でした。

揖龍ふれあい作品展（特別支援学級児童）

1月24・25日に、太子町役場の議会棟において、揖龍地区小中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒のみなさんの作品展が開催されました。本校児童の作品も展示されていて、それぞれがのびのびと、そして一生懸命に作っていた様子が思い出されるようでした。他の学校の児童・生徒の作品も展示されていて、それぞれの個性が光る作品ばかりでした。



太子東中校区なかよし会（特別支援学級児童）

1月29日に、本校と龍田小、そして太子東中の3校の特別支援学級在籍の児童・生徒がリモートで交流をしました。太子町教委の先生のお話の後、各校からクイズやゲームといった出し物をしていきました。本校では、3つほどのクラスに分かれて参加しました。どの学校も工夫を凝らしていて、楽しく交流することができていました。

幼児を助ける！（本校児童数名）

2月4日に、ザグザグ太子店前で2歳になる幼児が国道に出ようとしていたところ、たまたま通りかかった本校児童の数名がとっさにその幼児を助け、お店の店長さんに引き渡したとのことです。迅速に状況を理解し、行動できたことが本当に素晴らしいと思います。尊い命が助かりました。さすが太田っ子です。



第42回たつの太子小学生駅伝競走大会（5・6年有志児童）

2月8日に、雪が舞う厳しいコンディションの中、駅伝大会が太子総合運動公園陸上競技場周辺コースで行われました。本校からは男女それぞれ5・6年生の有志の子どもたちが参加し、1月からの練習の成果を発揮し、女子チームが2位、男子チームが3位という成績を収めました。襷をつなごうと必死で走る姿と大きな声で応援する姿に感動しました。

大縄大会（スポーツ委員会）

2月10日に3年生と4年生、12日に1年生と6年生、17日に2年生と5年生が大縄大会に挑みました。それぞれのクラスで、休み時間や体育の時間に練習してきた成果を発揮するべく、みんなで心をつなげて、3分間跳びきりました。みんなで励まし合い、声を出し合い、団結して1つのことに取り組む姿は、見ている素晴らしい一言につきまします。また、大会を運営するスポーツ委員会のみなさんもとても楽しそうでした。



雪の朝

2月9日の朝は、前日の夜に降った雪で、運動場は真っ白でした。子どもたちは、登校時からテンションが高く、雪のかたまりを持ちながらやってきていました。学校では、冷たい雪の感触を楽しむように、雪だるまを作ったり、雪玉を作って投げたりして遊んでいました。



革細工体験（5年生）

2月12日に、龍野レザーのみなさんに教えていただきながら、革細工体験を行いました。いろいろな色や柄の革の中から自分が作っていく革を選び、道具を使ってペンケースを作っていました。ちょっとした装飾を工夫することで、世界に1つだけのものができるようになりました。



新1年生体験入学（1年生）

2月13日に、来年度入学予定の新1年生と保護者の皆様への、入学説明会と体験入学がありました。体験入学では、数日前から準備をしてきた1年生が、やる気十分で、司会進行はもちろん、園児に優しく話しかけたり、活動を手助けしたりしていました。すごろく・けん玉・お手玉・色板並べ・鉛筆で線を描く練習などの活動を一緒に楽しみ、笑顔が溢れていました。



【 がんばりの足跡 】

本校学校教育活動及び「公共団体」主催の社会教育活動（スポーツ・文化）の範囲の内容で頑張りを讃え、掲載させていただきます。

◇第77回兵庫県珠算競技大会（12月7日）

団体総合競技 小学生の部 三等 太田珠算研究会 榮藤颯真（6年） 田中希彰（6年）
宮山麗桜（5年）

◇太子町内小・中学校年賀状コンクール（1月31日）

太子郵便局賞 田中晴紀（5年） 文化協会賞 猶原未結（5年）
佳作 窄口紗綾（6年） 竹内逞真（6年） 川上璃久（5年） 赤松優衣（4年）
榮藤陽真（4年） 松岡 凜（3年） 窄口心海（3年） 井上真緒（2年）
田中和花（2年） 赤松那奈（1年） 辻本彩華（1年）

◇第41回たつの太子小学校駅伝競走大会（2月8日）

女子の部 第2位 太田小学校
男子の部 第3位 太田小学校

<区間賞 女子>

1区 1位 森川いよな（6年）
2区 3位 鹿島葉月（5年）
3区 1位 榎 華奈（5年）
4区 1位 上玉利莉緒（6年）

<オープンの部 区間賞 女子>

3区 2位 有田彩那（6年）

<区間賞 男子>

1区 1位 萩原颯祐（6年）
4区 1位 田中虹輝（6年）
6区 1位 田上 樹（6年）

<オープンの部 区間賞 男子>

2区 2位 深田稜真（5年）
3区 1位 宮山麗桜（5年）
4区 1位 諸石悠真（5年）



◇2025年度兵庫県小学生クラブ対抗大会 バドミントン（2月11日）

優勝 太市BC（B）加藤みつき（3年）

◇第1回太子町ミニバスケットボール大会（2月15日）

U12女子の部 優勝 太子ミニバスケットボールクラブ

◇第30回太子町子ども会ドッジボール大会（2月21日）

中学年の部 準優勝 チーム友だち!!（4年）



◇第27回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA（2月9日）

オンライン決勝大会 小学3・4年生部門 銅賞 黒崎仁菜（3年）

◇アクセル日本小学生27Kg以下級（2月23日）

チャンピオン 平城玲志郎（4年）